

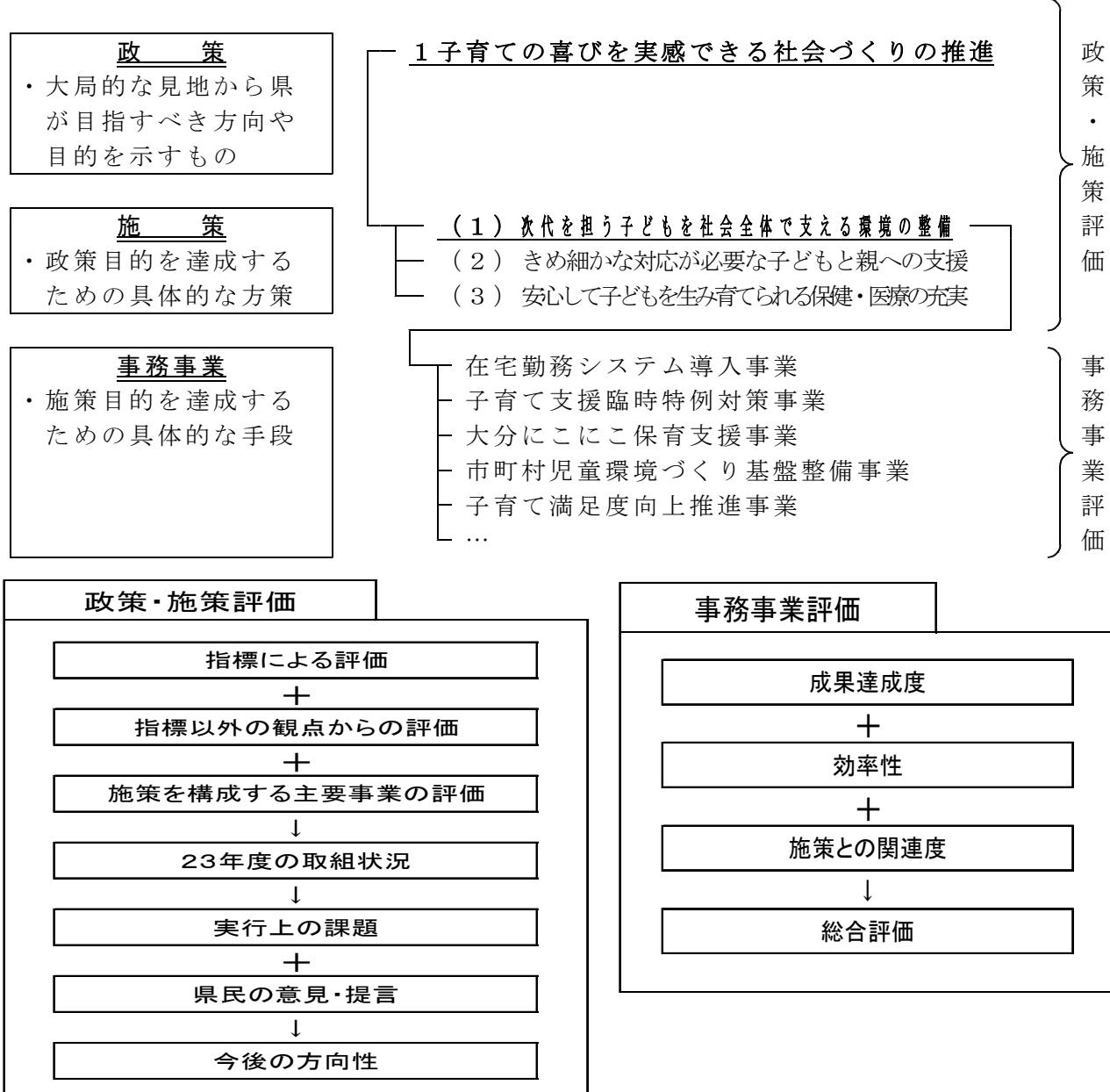
平成24年度行政評価方法(概要)

1 行政評価の全体像

(1) 目的

- ① 職員の意識改革（成果重視）を進めるとともに、新たな展開を考える基礎とすることにより政策形成能力の向上を図る。
- ② 県民に対し施策や事業についての説明責任（成果が上がっているか、効果的に実施されているか等）を果たす。
- ③ 限られた行政資源を最大限に活用し、事務事業の効率化、適正化を図るとともに、行政サービスの質の向上を目指す。

(2) 各段階の評価



2 政策・施策評価

(1) 評価の対象

「安心・活力・発展プラン2005（2012改訂版）」における、20政策、57施策について評価を実施

(2) 評価方法

○指標による評価

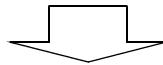
施策毎に設定した目標指標の数値をどれだけ達成できたのかを評価

○指標以外の観点からの評価

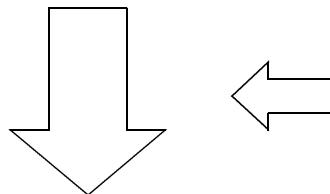
目標指標だけでは測れないその他の取り組みについて評価

○施策を構成する主要事業の評価

施策を構成している主な事業を評価



23年度の取組状況及び実行上の課題の把握



「安心・活力・発展プラン2005」
推進委員会等の意見

今後の施策展開の方向性

☆ 昨年度からの変更点

政策・施策評価を県民の皆様方にとって分かりやすいものにするという観点から、政策・施策評価調書内に「円グラフ」や「図表」、「レーダーチャート」を導入し、達成状況が一目で分かるよう「見える化」を行っています。

3 事務事業評価

(1) 評価の対象

平成23年度に県が実施した事業のうち、主要な490事業について評価を実施

(2) 評価方法

① 事務事業評価の視点と内容

- | | |
|------------------------------|---------------|
| i 「事業の目的」 = 事業目的は妥当か | → 事業目的の明確化 |
| ii 「成果指標・実績」 = 事業目的は達成されているか | → 指標による成果の把握 |
| iii 「必要性」 = 県による実施の必要性はあるか | → 必要性の検証 |
| iv 「効率性」 = 事業は効率的に行われているか | → 指標による効率性の把握 |

② 総合評価への反映

24年度以降の事業の方向性、見直しを行う場合の時期、内容等について総合評価を実施し、今後の事業展開に活かしています。

4 公表

- ・情報センター、地区情報コーナー、ホームページにより公表